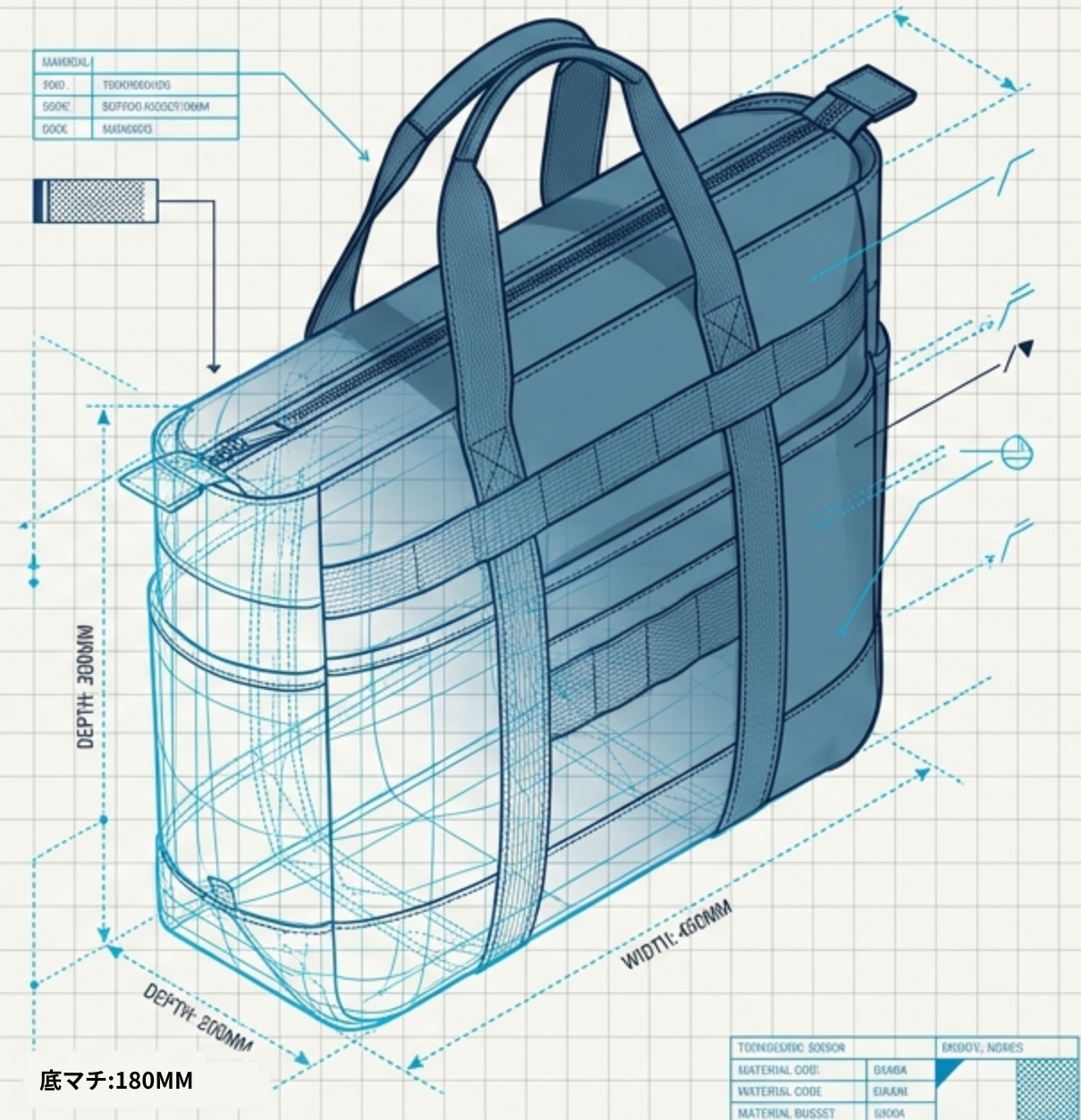


カスタム ナイロンバッグ RFQガイド

生地構造、機能、製造時の取り扱いを
指定するための
技術設計書。

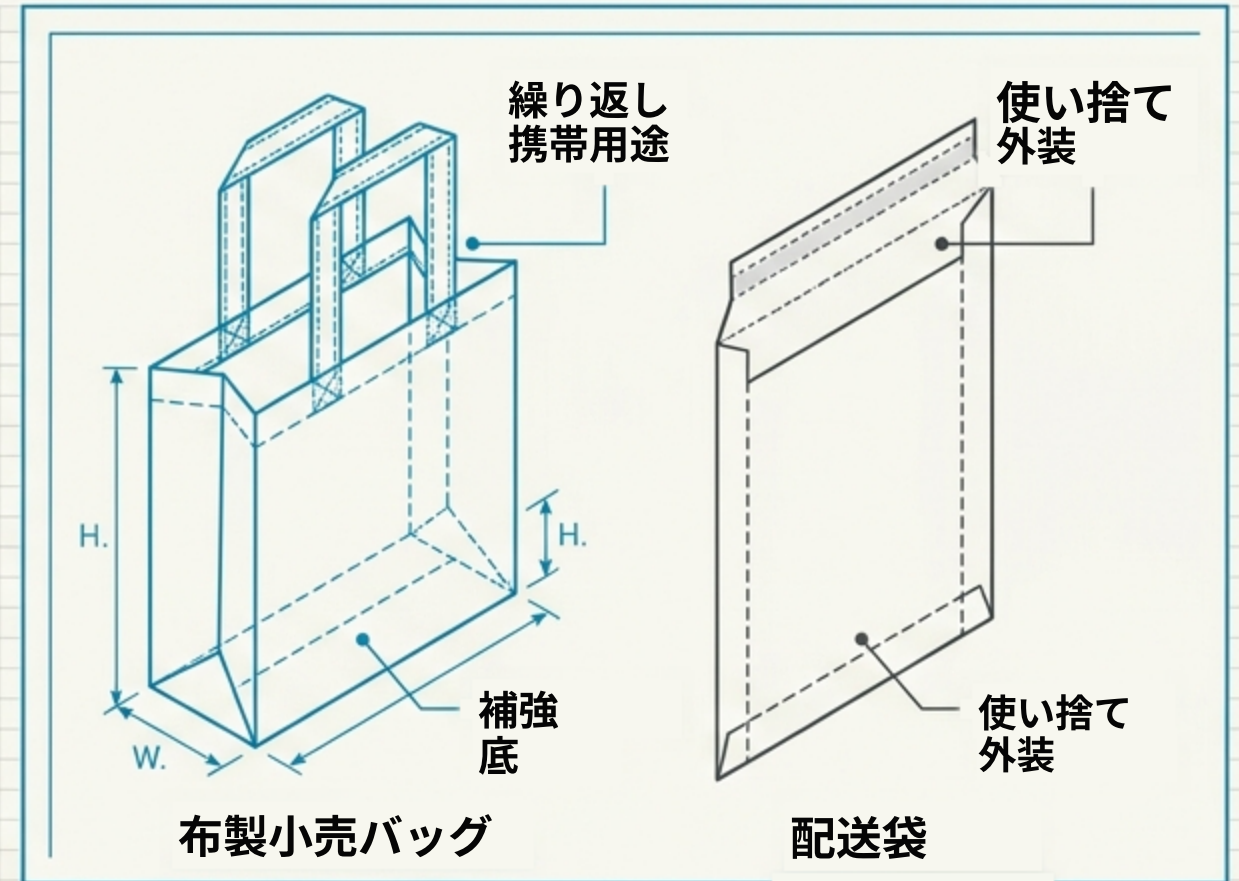
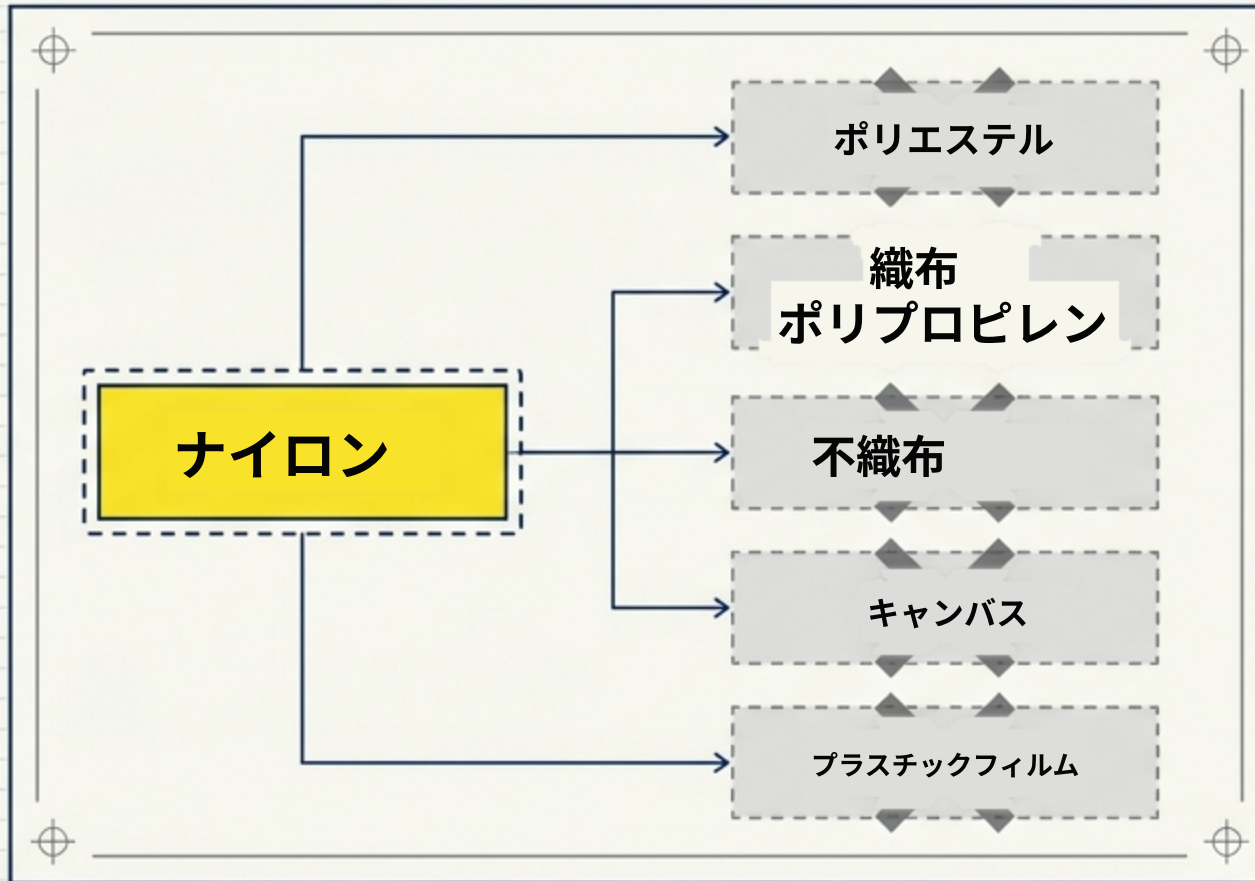
仕様規格:
発行・検証済み



「ナイロン」は繊維の一群であり、仕様ではありません。

トート、巾着、折りたたみショッピングバッグは繊維名が同じでも、まったく異なる構造、縫製、開閉部が必要です。「ナイロン」という指定だけでは性能は定まりません。

ナイロン製の

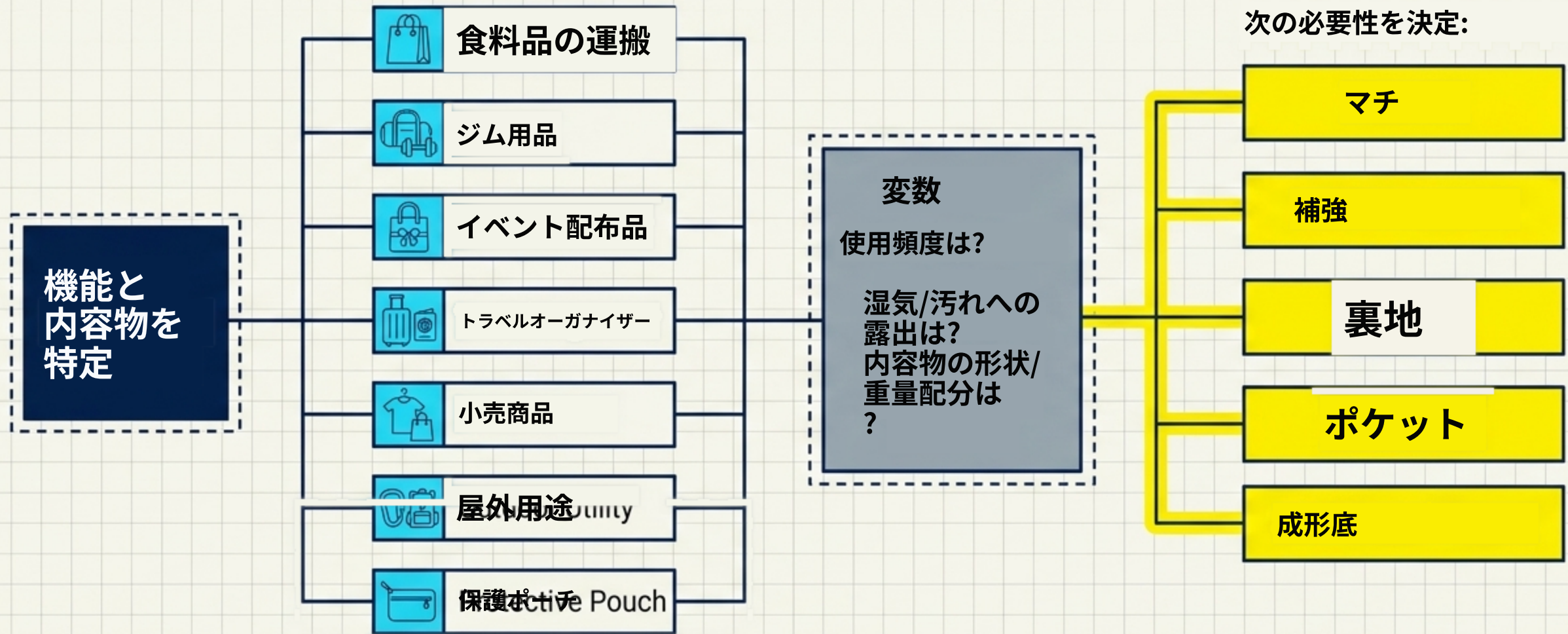


重要な違い:繰り返しの携帯や小売用途を想定した布製バッグには
使い捨て配送袋とは異なる構造仕様が必要です。

仕様のギャップ

購入者の思い込み	実情	必要な仕様
「ナイロンだから防水だろう。」	標準的なナイロン織物は生地と縫い目から水を吸収します。	実際の試験条件を定義 (例:DWRコーティング、シームテープ加工、または撥水処理を指定)。 
「ナイロンは本来強い。」	強度は織密度、デニール、荷重配分に左右されます。	荷物の形状、重量配分、耐摩耗性の要件を明記します。 
「小さく収納できるだろう。」	厚いコーティング、裏地、硬いファスナーは収納性を損ないます。	バッグを内側へ折り込む必要があるか、形状を保持するかを明記します。 

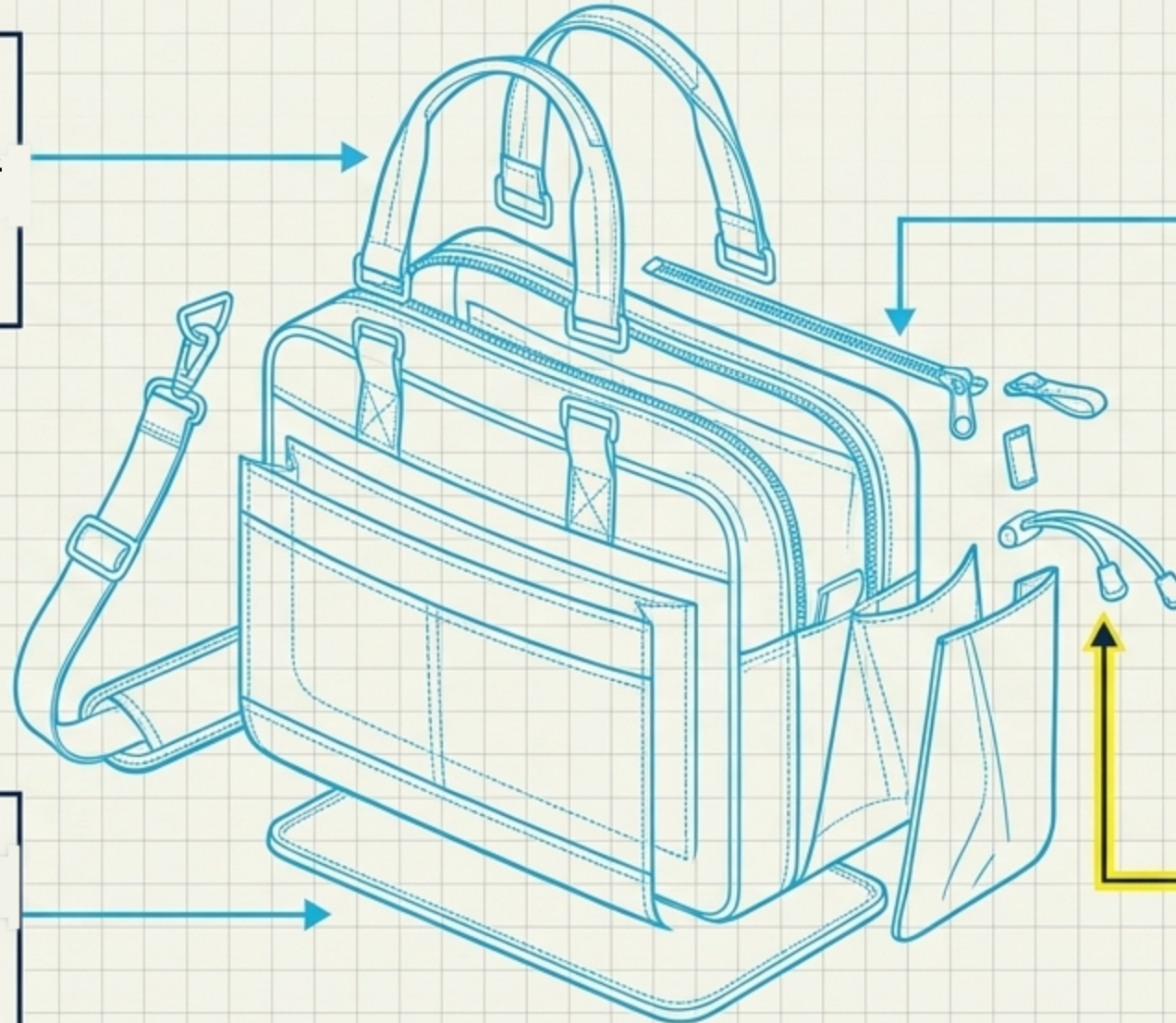
フェーズ1:使用環境 と荷重形状



フェーズ2:構造、金具、安全性

ハンドル/ストラップ: 短い
ハンドルか肩掛け
ストラップかによって、使用者の
携帯姿勢と集中荷重の
応力が決まります。

底とマチ: 平底
かサイドマチかによって
容積と
設置面積が決まります。



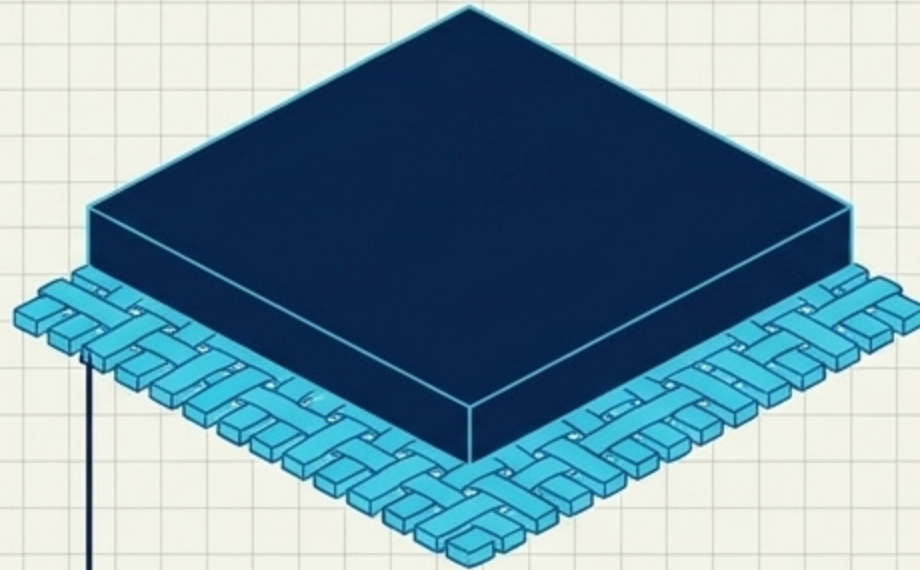
開閉部: ファスナー、スナップ、
面ファスナー、オープン
トップ、
ドローコードでは
製造上の影響と
機械的な故障箇所が
異なります。

安全パラメータ:
コード端、小部品の
脱落性、およびデリケート
な
衣類に対する摩擦/摩耗を
監視します。

フェーズ3:表面化学と加工

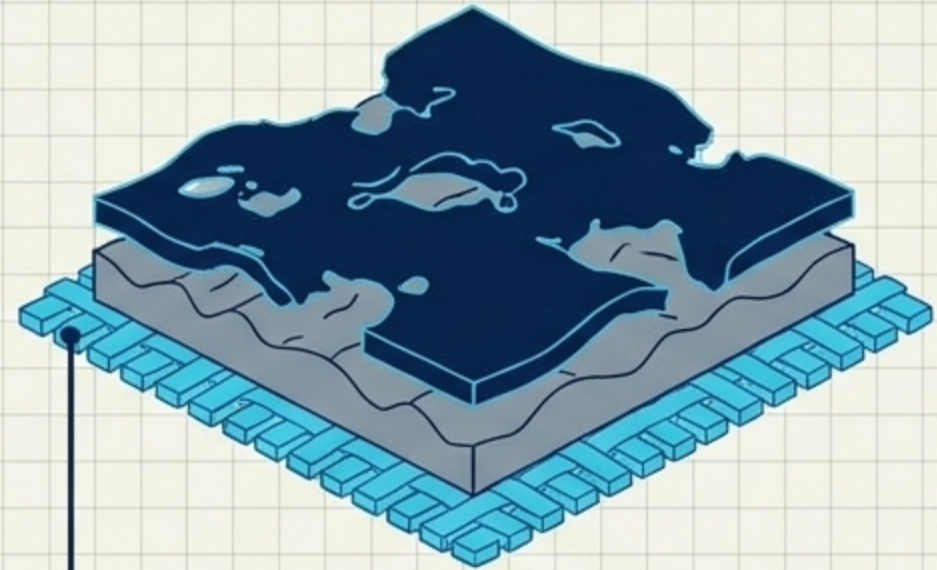
外観と実用性はしばしば競合します。滑らかな生地は精細な高解像度印刷に適します。
ただし、撥水処理や特殊仕上げは表面張力を変化させます。

滑らかな生地表面



未コーティング:最適なインク密着性

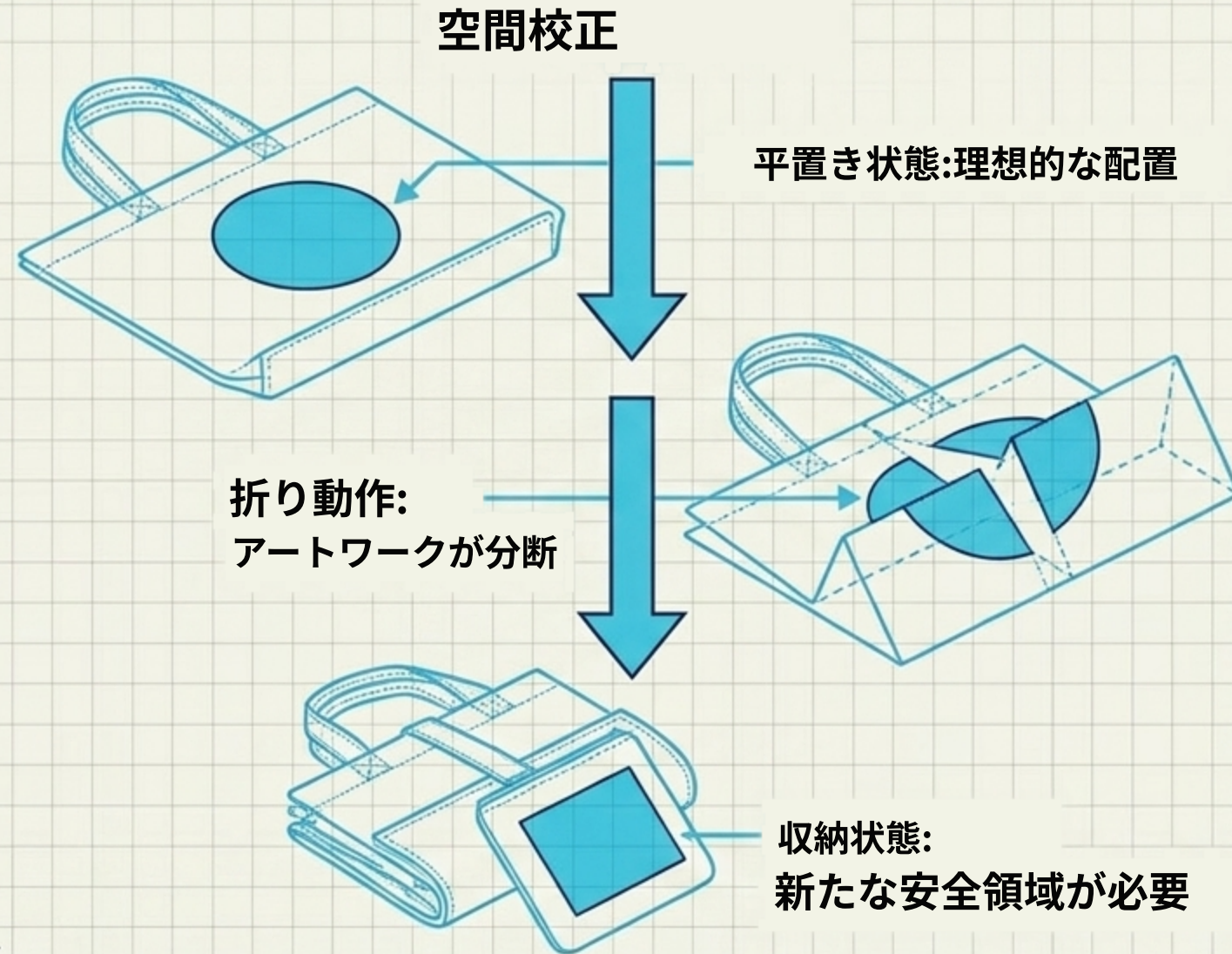
テクスチャー/コーティング表面



コーティング済み:密着不良リスク

実践ルール:コーティングまたはテクスチャー仕上げを指定する場合、素材と印刷の適合性確認が必須です。
重要な表面適合性には、インク密着性を確認するサンプル/試験レビューが必要です。

フェーズ4:アートワーク配置と空間制約



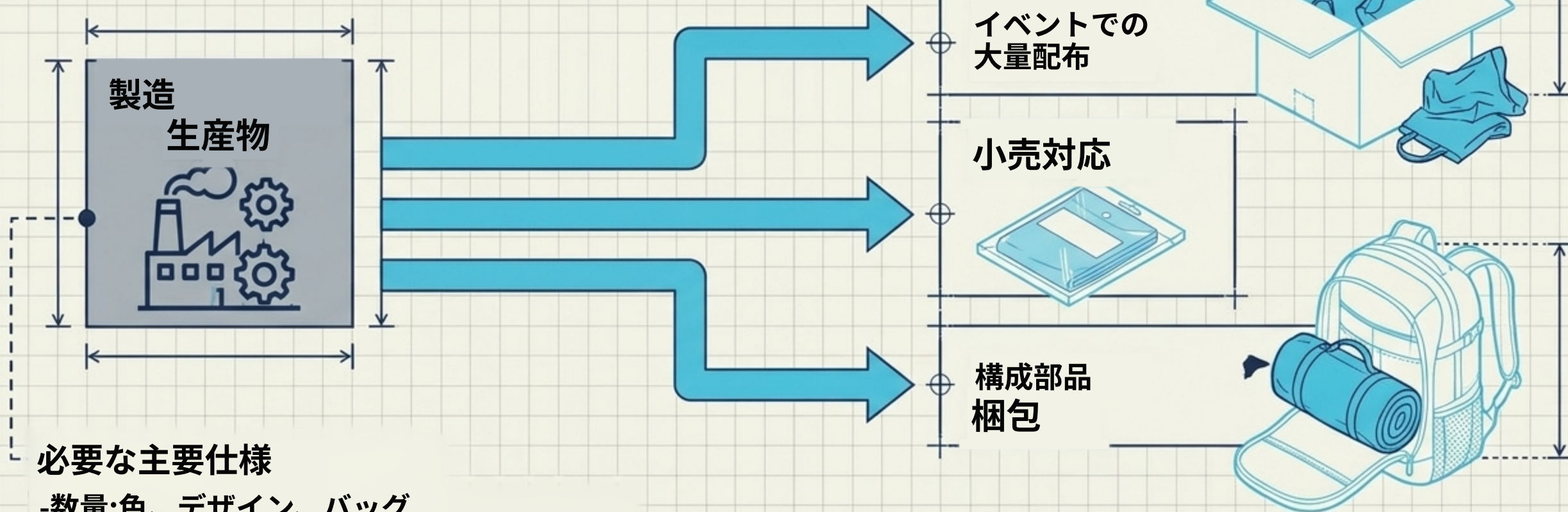
ベクターアートワーク、色見本、印刷パネルの正確な配置を提供してください。

縫い目、折り線、ポケット、ストラップとの位置関係を厳密に指定します。
バッグをポーチに折りたたむ場合は、最終的に外側となるパネルのブランディングを指定します。

厳格な印刷禁止領域を特定: ケア
ラベル、バーコードラベル、
取り付け箇所。

注:参照画像だけに依存しないこと
生地重量、織り、内部
構造の判断には使用不可。

フェーズ5:構成と物流



必要な主要仕様

-数量:色、デザイン、バッグ
構成別に分類。

-折りたたみ・梱包:個別スリーブ、構造

インサート、特定の折り方が必要ですか？

流通環境:イベントで配布しますか。

小売販売しますか、それとも別製品の構成部品として梱包しますか？



品質管理上の警告:梱包方法は
輸送中の不要なしわ、色移り、開閉部や
印刷面の圧潰損傷を防ぐため
明確に指定する必要があります。

究極のRFQ評価表

用途と荷重

- 1 必要なバッグ形式と最終用途は何ですか？
- 2 内容物、荷重形状、使用環境は何ですか？

物理構造

- 3 確認が必要な生地構造、裏地、コーティング、仕上げは何ですか？
- 4 必要なマチ、底、ポケット、ストラップ、開閉部の詳細は何ですか？
- 5 バッグはポーチに折り込む必要がありますか、それとも形状を保ちますか？

加工と安全性

- 6 縫い目/折り目をまたがずにアートワークを配置できる場所はどこですか？
- 8 コード、開閉部、小部品にどの安全配慮が必要ですか？

検証と納品

- 7 色、印刷密着性、湿気、摩耗の試験は必要ですか？
- 9 必要な構成とカラーバリエーションはいくつですか？
- 10 どの梱包・見積承認が具体的に必要ですか？

基本コンプライアンス:表現制限

最終的な技術・商業上の確約には正式な見積、アートワーク、素材レビューが必要です。繊維名だけで判断しないでください。

UNVERIFIED



試験による検証なしに、防水性、強度、耐変色性、屋外耐久性をうたってはなりません。



検証済み文書なしに、再生材含有や環境認証をうたってはなりません。



現物サンプルと技術レビューが承認されるまで、容量、正確な素材仕様、価格、納期、最小数量を保証してはなりません。